



# PLUM法新電文対応試験ツール PLUM Simulator

平成30年3月に導入が予定されている緊急地震速報PLUM法新電文・移行措置電文に対する、緊急地震速報関連事業者向けの動作確認ツールです。

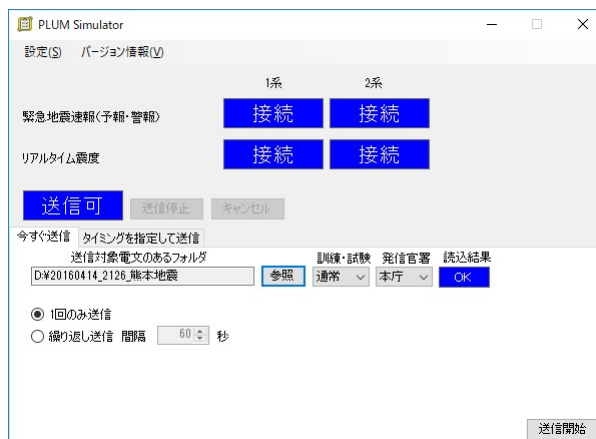
## PLUM Simulator (気象庁・気象業務支援センターの役割)

- ◆地震ID・時刻を送信タイミングに合わせて編集して送信
- ◆必要な電文、形式で送信

- ・予報・警報（新形式電文:XML・コード）
- ・リアルタイム震度電文:XML・コード
- ・予報・警報（移行措置電文:XML・コード）

## 事業者サーバ・端末 (テスト対象機器)

- ◆新形式電文、移行措置電文の動作確認
- ◆PLUM Simulatorのログファイルで通信内容確認
- ◆複数同時地震など試験しにくいパターンについても試験可能



ソフトウェア画面

## 主な機能

- ・試験用の緊急地震速報（予報・警報）電文およびリアルタイム震度電文について、地震IDや発生時刻等を送信タイミングに合わせて編集した上で送信します。
- ・コード電文・XML電文どちらの電文にも対応します。
- ・気象業務支援センター接続時と同様、本ツールがTCPサーバとなる接続、受信側がTCPサーバとなる接続どちらにも対応します。また、2系統配信にも対応します。
- ・気象業務支援センターが予定している2種類の配信方法、(1)緊急地震速報（予報・警報）電文とリアルタイム震度電文を同一ポートから送信するパターン、(2)別サーバから送信するパターン、のどちらの試験も可能です。
- ・最大5つの地震が同時に発生したときの試験が可能です。
- ・送信電文はログファイルに保存されるので、開発時の確認に利用できます。
- ・容易なGUI操作で試験電文を送信できます。
- ・新形式電文のほか、現行電文や移行措置電文のテストにも使えます。

## 動作環境

OS	Microsoft Windows 7, 8, 10, Server 2012, 2016
.NET Framework	.NET Framework 4.6上で動作
CPU	1 GHz以上の32bitまたは64bitプロセッサ
メモリ	1 GB以上のメモリが利用できること
HDD	20 GB以上の空き容量

## 価格

緊急地震速報利用者協議会会員特別価格

**¥250,000** (税別)

通常価格：¥350,000 (税別)

本ツールは、平成30年3月予定のPLUM法導入時以降発表されるようになる緊急地震速報（予報・警報）電文の「新形式電文」と「移行措置電文」、リアルタイム震度電文について、これらの電文を受信したときの事業者サーバ・端末の動作を確認するためのものです。緊急地震速報利用者協議会の勉強会で試験用ツールが会員より要望され、気象庁の技術協力を得て協議会として作成いたしました。本ツールは緊急地震速報利用者協議会公式ツールであり、会員による試験結果等については、緊急地震速報利用者協議会HPで公表することができます。

### 緊急地震速報関連製品ラインナップ

- ・表示ソフトウェア KANAME-QUICK
- ・再配信ソフト KANAME-QUICK Server
- ・音声放送向け緊急地震速報システム KANAME-QUICK/Audio
- ・ラジオ放送局向け緊急地震速報システム
- ・デモ地震速報発信ソフト KANAME-QUICK VEG
- ・テスト用電文作成プログラム Denbun Maker
- ・ほか事業者向けシステム開発支援・コンサルタントも承ります。

### 開発・販売元

## 株式会社かなめ技術開発

予報業務許可第190号（地震動）

〒111-0054 東京都台東区鳥越二丁目7-4 エス・アイビル3階  
TEL: 03-5809-2410 FAX: 0303862-5166  
URL: <http://www.kaname-tec.co.jp/>  
E-mail: [info@kaname-tec.co.jp](mailto:info@kaname-tec.co.jp)